



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社アバールデータ
コード番号 6918
代表者（役職名）代表取締役社長
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <https://www.avaldata.co.jp/>
（氏名）菊地 豊
（氏名）三川 宏（TEL）042-732-1000

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	1,833	△37.6	94	△75.1	135	△69.7	90	△71.0
2025年3月期第1四半期	2,939	△14.7	379	△44.5	447	△40.1	311	△41.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	14.67	—
2025年3月期第1四半期	50.66	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	22,320	20,300	90.9
2025年3月期	22,236	20,059	90.2

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 20,300百万円 2025年3月期 20,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	39.00	—	31.00	70.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		45.00	—	54.00	99.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期（予想）につきましては、2025年5月14日に「配当方針の変更に関するお知らせ」において公表のとおり、安定的な配当に係る補完指標としてDOEを導入することとしております。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	4,200	△24.9	230	△70.3	300	△65.0	215	△65.1	34.89
通期	10,050	△8.5	1,010	△28.9	1,105	△28.0	795	△30.1	129.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	7,117,842株	2025年3月期	7,117,842株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	955,939株	2025年3月期	955,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	6,161,903株	2025年3月期1Q	6,158,296株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ（3）「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、景気は一部に足踏みがみられるものの緩やかに回復しておりますが、物価上昇による消費マインドの低下、米国の通商政策等に伴う影響や、地政学的リスクの高まりなどが、我が国の景気の下押しリスクとなり、先行きが不透明な状況となっております。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、AI需要に牽引されたデータセンター向けの先端ロジックやHBM向け装置の需要は高水準で推移しておりますが、自動車や産業機器向けでは引続き設備投資が抑制傾向にあることから、全体としては回復に遅れが見られました。

このような経営環境のもと、当社では、引続き中長期での需要の増加に備えた必要な先行投資を行いつつ、お客様の装置の付加価値向上に資する製品の提供に努めてまいりましたが、売上高は想定をやや下回り推移いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,833百万円(前年同四半期比37.6%減)、営業利益は94百万円(前年同四半期比75.1%減)、経常利益は135百万円(前年同四半期比69.7%減)、四半期純利益は90百万円(前年同四半期比71.0%減)となりました。

当社は、事業内容を2つの報告セグメントに分けております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりであります。

① 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。受注残の製品が完成、納品されましたが、一部顧客で在庫調整が長期化しており、全体としては想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は1,087百万円(前年同四半期比42.4%減)、セグメント営業利益は86百万円(前年同四半期比68.8%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。受注残の製品の完成、納入が進みましたが、一部で生じた在庫調整が続いており、全体としては想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は728百万円(前年同四半期比53.9%減)となりました。

ロ) 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。検査装置やFA関連の一部顧客が堅調に推移しましたが、全体としては想定をやや下回り推移いたしました。

この結果、売上高は253百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

ハ) 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。受注残の製品完成、納品が進みましたが、全体としては想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は105百万円(前年同四半期比34.2%増)となりました。

② 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。計測通信機器の一部顧客で在庫調整が続いており、前年同期比では減少となりましたが、全体としては想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は745百万円(前年同四半期比29.1%減)、セグメント営業利益は167百万円(前年同四半期比42.4%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。FA関連の停滞が続いておりますが、医療機器関連、電力関連の一部顧客に需要の回復が見られ、全体としてはほぼ想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は113百万円(前年同四半期比24.9%減)となりました。

ロ) 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。一部顧客の需要増もあり、全体としてはほぼ想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は320百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

ハ) 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、一部顧客の在庫調整が続いており、前年同期比で減少となりましたが、全体としては想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は297百万円(前年同四半期比41.0%減)となりました。

ニ) 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は15百万円(前年同四半期比53.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は22,320百万円(前事業年度末比83百万円の増加)となりました。

増加要因として、商品及び製品が123百万円、仕掛品が53百万円、投資有価証券が時価変動等の要因により498百万円それぞれ増加しております。

減少要因として、主に、現金及び預金が144百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が234百万円、有価証券が99百万円、原材料及び貯蔵品が47百万円、有形固定資産が39百万円、その他が18百万円、それぞれ減少しております。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は2,020百万円(前事業年度末比157百万円の減少)となりました。

増加要因として、繰延税金負債が196百万円、その他が65百万円それぞれ増加しております。

減少要因として、主に、支払手形及び買掛金が229百万円、賞与引当金が133百万円、役員賞与引当金が54百万円、それぞれ減少しております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は20,300百万円(前事業年度末比240百万円の増加)となりました。

この増加は、時価変動の要因によりその他有価証券評価差額金が341百万円増加した一方で、利益剰余金が100百万円減少したことによります。

(自己資本比率)

当第1四半期会計期間末における自己資本比率は90.9%(前事業年度末は90.2%)となりました。

なお、自己資本比率は、当社の経営指標の一つとしており、自己資本比率80%以上を目標としております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、現時点では、2025年5月14日付「2025年3月期 決算短信」に公表いたしました数値からの変更はございません。

また、今後、業績に影響を及ぼす事態が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,124,907	5,980,540
受取手形、売掛金及び契約資産	2,022,837	1,788,423
電子記録債権	413,342	409,900
有価証券	99,902	—
商品及び製品	776,186	899,597
仕掛品	295,722	348,851
原材料及び貯蔵品	5,534,080	5,486,308
その他	906,377	888,442
流動資産合計	16,173,356	15,802,063
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,151,701	1,151,701
その他(純額)	2,075,317	2,036,011
有形固定資産合計	3,227,018	3,187,712
無形固定資産	56,069	51,922
投資その他の資産		
投資有価証券	2,677,284	3,175,678
関係会社株式	25,500	25,500
前払年金費用	20,073	21,032
その他	57,150	56,412
投資その他の資産合計	2,780,008	3,278,623
固定資産合計	6,063,096	6,518,258
資産合計	22,236,453	22,320,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,160,803	931,149
賞与引当金	216,801	82,981
役員賞与引当金	65,254	10,413
その他	212,279	277,972
流動負債合計	1,655,138	1,302,517
固定負債		
繰延税金負債	519,931	716,559
役員退職慰労引当金	2,230	1,130
固定負債合計	522,161	717,689
負債合計	2,177,299	2,020,207

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,444,942	2,444,942
利益剰余金	14,567,655	14,467,054
自己株式	△687,747	△687,747
株主資本合計	18,678,946	18,578,344
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,380,208	1,721,770
評価・換算差額等合計	1,380,208	1,721,770
純資産合計	20,059,154	20,300,114
負債純資産合計	22,236,453	22,320,322

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,939,235	1,833,426
売上原価	2,044,540	1,289,287
売上総利益	894,694	544,139
販売費及び一般管理費	514,867	449,384
営業利益	379,827	94,754
営業外収益		
受取利息	66	585
受取配当金	64,969	37,841
受取賃貸料	100	1,950
助成金収入	1,548	—
その他	849	390
営業外収益合計	67,533	40,767
営業外費用		
為替差損	21	5
営業外費用合計	21	5
経常利益	447,339	135,516
特別損失		
固定資産除却損	—	287
特別損失合計	—	287
税引前四半期純利益	447,339	135,229
法人税、住民税及び事業税	13,078	5,112
法人税等調整額	122,285	39,699
法人税等合計	135,364	44,812
四半期純利益	311,975	90,417

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,886,428	1,052,806	2,939,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,886,428	1,052,806	2,939,235
セグメント利益	276,129	291,301	567,430

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	567,430
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△187,603
四半期損益計算書の営業利益	379,827

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,087,485	745,941	1,833,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,087,485	745,941	1,833,426
セグメント利益	86,036	167,687	253,724

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	253,724
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△158,969
四半期損益計算書の営業利益	94,754

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	39,938千円	48,625千円